

令和二年度 三学期終業式 三月十六日

新型コロナウイルスに振り回されながらも、新たな生活様式により、感染防止対策を徹底しながら、何とか学習活動を続けてきた一年間でした。今までの学校生活が当たり前でなくなり、先の見えない不安や言葉にならない切なさの連続でしたが、皆さんはこの苦境を乗り越え、立派に三中を受け継ぎ、発展させられました。まず、その三中生に感謝します。

そして、先程、PTAの皆さんからサプライズで、「歌によるエール」が三中生に贈られました。これは、コロナ禍で一番辛い思いをしている子どもたちを励ましたいという保護者の皆様の自主的な思いにより実現されたものです。このような保護者の温かな支えがあつて、今の私たちがいることを改めて自覚し、感謝申し上げたいと思います。

さて、3学期の始業式で、

1年生：「いかに三中生を迎えるか」

2年生：「いかに三中を引き継ぐか」

3年生：「いかに三中を卒業するか」

というお話をしました。

1年生は、この四月に入学してくる小学校6年生に對して、学校説明会を通して、見事「三中生の姿」を自らの姿で示してくれました。各発表はもちろんです。聞く・観る・待つ姿勢もすばらしく、そこ

に本物の姿がありました。きつと新入生は、一年生の姿に憧れをもち、三中生として入学してきてくれることでしよう。入学後もよろしくお願いします。

2年生は、すでに3年生から生徒会や部活動などを引き継ぎ、校内の諸活動をリードしてくれています。特に、生徒総会や3年生を送る会等に代表されるように、今までの活動を単に受け継ぐだけではなく、随所に新たな工夫があり、三中をさらに発展させようとする意欲的な姿勢が何よりすばらしいと思います。この取組を継続し、一層三中の自主性を高めてください。

3年生は、只今、在校生代表の「送る言葉」にありましたように、常に憧れの存在として、コロナ禍にあっても学校生活のあらゆる場面で三中をリードしてくれました。後期選抜まで無事終了し、あとはそれぞれの進路実現を祈るばかりです。そして、明日はいよいよ卒業式。「いかに卒業するか」――教職員、保護者の皆様に、立派に成長した姿、さらに逞しく生きようとする気概、すなわち「これぞ三中生」の姿を示してください。期待しています。在校生や来賓の皆様は参列できませんが、その姿は心に届くことでしよう。

結びに、四月、誰もが夢と希望に満ちた新年度のスタートとなることを祈っています。